

登録コード	E4300903	開講年度	2026			
授業科目	初等国語科指導法基礎D				担当教員	大井 和彦
英文授業名					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				初等学校国語科教員としての専門知に立った教養と教育理念とを獲得することができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				初等学校国語科教員に求められる対話能力、協調性、課題遂行能力を涵養することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	授業形式は、講義だけでなく、話し合いなどのグループワークも積極的に採り入れている。それらの活動を通して、初等国語科教育の目標・内容・方法について、実践的・理論的に考究する。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス：【オンデマンド】 第2回：「国語教育」とは何か、「国語科教育」とは何か 第3回：学習指導要領の特徴と変遷：【オンデマンド】 第4回：全国学力学習状況調査に見る、今日の「国語力」 第5回：国語科における「リテラシー」「コンピテンシー」「エージェンシー」：【オンデマンド】 第6回：【知識及び技能】の学習指導 ―「言葉の特徴や使い方に関する事項」― 第7回：【知識及び技能】の学習指導 ―「情報の扱い方に関する事項」― 第8回：【知識及び技能】の学習指導 ―「我が国の言語文化に関する事項」― 第9回：【思考力・判断力・表現力等】の学習指導 ―「話すこと・聞くこと」― 第10回：【思考力・判断力・表現力等】の学習指導 ―「書くこと」― 第11回：【思考力・判断力・表現力等】の学習指導 ―「読むこと」― 第12回：国語科におけるICT活用のあり方 第13回：国語科における学習指導案および評価規準・基準作成の方法：【オンデマンド】 第14回：講義内容を踏まえた模擬授業 授業アンケート 定期試験					
(6)成績評価の方法	定期試験で漢字の書き取りテスト（50％）と筆記テスト（50％）を行う。 小学校教育漢字の書き取りテストを通して、小学校教員を目指す学生に求められる基礎的知識を測る。 筆記テストを通して、講義内容についての理解と考察の程度を測る。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	授業内に課した課題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、授業内の課題よりも難しい応用問題が解ければ「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	e-ALPSに講義資料を掲載するので、授業前後に閲覧し、予習・復習を怠らないこと。 担当教員の業務都合により、一部の回がオンデマンドになります。日程確認をよく行ってください。それに伴い、扱う内容が前後することもあります。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	各回の授業は原則として前回の内容を踏まえて行うので、休まず参加されたい。また、e-ALPSに講義資料を掲載するので、授業前後に閲覧し、予習・復習を怠らないこと。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	空いている時間であればいつでも相談に応じます。E-MAIL：kazuhiko_oi@shinshu-u.ac.jp TEL:026-238-4071					
【教科書】	文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社					
【参考文献】	授業内にて指示する。					